



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 川隅 義之 TEL 054-288-5200
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	17,363	0.9	840	△33.3	993	△30.6	941	△3.2
2021年3月期第1四半期	17,212	—	1,260	—	1,431	—	973	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 928百万円 (△17.1%) 2021年3月期第1四半期 1,120百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	100.09	—
2021年3月期第1四半期	103.45	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。これにより、2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	59,560	33,128	55.6	3,520.33
2021年3月期	56,947	32,435	57.0	3,446.66

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 33,128百万円 2021年3月期 32,435百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—				
2022年3月期 (予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期第2四半期末配当の内訳 : 普通配当18円00銭 記念配当7円00銭
 2021年3月期期末配当金の内訳 : 普通配当18円00銭 記念配当7円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	35,200	0.2	1,300	△49.3	1,600	△43.2	1,400	△32.7	148.77
通期	68,000	1.0	2,200	△35.5	2,700	△30.9	2,100	△29.4	223.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正を行ったため、遡及修正後の前期数値と比較して記載しています。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	10,325,365株	2021年3月期	10,325,365株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	914,620株	2021年3月期	914,620株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	9,410,745株	2021年3月期1Q	9,410,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 2022年3月期第1四半期決算短信(連結)補足説明	9
(1) 売上高・利益の増減要因等	9
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、昨年来続く新型コロナウイルス感染症の影響で、一部自治体においてまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言が発出されたことにより、経済活動が制約を受け、依然として不透明な状況が続いています。

このような中、当社グループは、新中期経営計画「Challenge for 100th!」をスタートさせ、優先課題である信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立に取り組み始めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、家庭用製品の販売は、家庭内での食事機会の増加傾向が継続していますが、前年の需要急拡大による流通および家庭内の在庫不足が解消したことから減少しました。一方で業務用製品の販売は、各種給食向けの需要が回復基調であること等により伸長し、売上高は173億63百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

利益面では、各種資材価格が上昇したことに加え、販売奨励金や広告宣伝費、物流費が増加したこと等により、営業利益は8億40百万円（前年同期比33.3%減）、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常利益は9億93百万円（同30.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億41百万円（同3.2%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。また、当該会計基準等の適用については、「収益認識に関する会計基準」第84項に定める原則的な取扱いに従って、新たな会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用しているため、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間および前連結会計年度との比較・分析を行っています。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第1四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	7,924,870	46.1	7,794,498	44.9	△130,371	△1.6
		デザート	1,451,973	8.4	1,404,109	8.1	△47,864	△3.3
		パスタ&ソース	1,552,814	9.0	1,466,428	8.5	△86,385	△5.6
		総菜	1,825,437	10.6	1,748,308	10.1	△77,128	△4.2
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,012,398	5.9	885,729	5.1	△126,668	△12.5
		ギフト・その他食品	639,653	3.7	667,052	3.8	27,399	4.3
		計	14,407,147	83.7	13,966,127	80.5	△441,020	△3.1
	業務用食品	2,338,312	13.6	2,869,094	16.5	530,782	22.7	
	ペットフード・バイオ他	359,925	2.1	423,310	2.4	63,384	17.6	
	計	17,105,385	99.4	17,258,532	99.4	153,146	0.9	
その他	107,447	0.6	104,917	0.6	△2,530	△2.4		
合計	17,212,833	100.0	17,363,449	100.0	150,616	0.9		

「ツナ」では、TV等のコマーシャルでメニュー提案を行ったことから「シーチキンSmile」シリーズが好調でしたが、需要急拡大の前年同期までは届かず、売上高は前年同期比1.6%減少しました。

「デザート」では、開けやすく後片付けに便利なフルーツパウチが好調でしたが、缶詰製品が低調で売上高は同3.3%減少しました。

「パスタ&ソース」では、結束タイプのスパゲティが引き続き好調でしたが、ミートソースの価格改定等によりソースの販売機会が減少し、売上高は同5.6%減少しました。

「総菜」では、家庭での調理機会が増加したことから「シャキッとコーン」シリーズや料理素材でパウチタイプの「ホームクッキング」シリーズが好調でしたが、青魚の製品が低調で売上高は同4.2%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、取扱店舗が増加したことからふりかけ製品が好調でしたが、削りぶしやのり製品の販売が低調で売上高は同12.5%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、贈答品市場が回復せずギフトが減少しましたが、個食タイプの包装米飯「パパッとライス」が好調で売上高は同4.3%増加しました。

「業務用食品」では、各種給食向けの需要が回復し、売上高は同22.7%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、新製品を拡充したことや添加物不使用のペットフード「無一物」シリーズの販売が好調で、売上高は同17.6%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の内容

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より26億13百万円増加して、595億60百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が4億60百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が16億71百万円、現金及び預金が9億円ならびに有形固定資産のその他（純額）が4億25百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より19億20百万円増加して、264億31百万円となりました。これは主に、未払金が14億34百万円減少したものの、販売促進引当金が14億95百万円、支払手形及び買掛金が11億6百万円ならびに流動負債のその他が4億86百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より6億93百万円増加して331億28百万円となりました。これは主に、利益剰余金が7億6百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.0%から55.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の第2四半期累計期間および通期連結業績予想については、2021年5月13日の発表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558,478	3,458,933
受取手形、売掛金及び契約資産	16,792,395	18,463,471
商品及び製品	8,172,175	8,151,768
仕掛品	55,301	46,796
原材料及び貯蔵品	2,841,978	3,086,279
その他	2,384,782	1,924,272
貸倒引当金	△16,669	△16,745
流動資産合計	32,788,441	35,114,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,896,931	6,811,596
土地	3,487,847	3,487,847
その他(純額)	4,649,426	5,075,074
有形固定資産合計	15,034,205	15,374,518
無形固定資産	457,211	429,577
投資その他の資産		
投資有価証券	7,751,086	7,763,284
退職給付に係る資産	450,264	415,358
その他	469,453	466,612
貸倒引当金	△3,195	△3,250
投資その他の資産合計	8,667,609	8,642,004
固定資産合計	24,159,026	24,446,100
資産合計	56,947,467	59,560,876
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,898,439	13,004,614
1年内返済予定の長期借入金	482,688	482,688
未払金	4,892,128	3,458,119
未払法人税等	438,181	423,329
売上割戻引当金	31,408	254,017
販売促進引当金	2,816	1,498,533
賞与引当金	391,143	596,427
その他	464,547	950,880
流動負債合計	18,601,353	20,668,610
固定負債		
長期借入金	3,681,541	3,607,369
役員退職慰労引当金	784,224	765,581
退職給付に係る負債	12,359	11,522
その他	1,432,377	1,378,911
固定負債合計	5,910,502	5,763,384
負債合計	24,511,855	26,431,995

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	29,090,471	29,797,145
自己株式	△2,162,718	△2,162,718
株主資本合計	29,311,949	30,018,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,197,868	3,101,579
繰延ヘッジ損益	97,708	57,687
為替換算調整勘定	△211,922	△102,989
退職給付に係る調整累計額	40,007	53,979
その他の包括利益累計額合計	3,123,662	3,110,257
純資産合計	32,435,612	33,128,881
負債純資産合計	56,947,467	59,560,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	17,212,833	17,363,449
売上原価	12,927,485	13,253,870
売上総利益	4,285,348	4,109,579
販売費及び一般管理費	3,024,497	3,269,071
営業利益	1,260,850	840,507
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	86,203	96,326
持分法による投資利益	54,516	28,717
仕入割引	9,771	9,560
賃貸料収入	17,845	17,264
その他	19,136	15,711
営業外収益合計	187,473	167,579
営業外費用		
支払利息	1,297	3,559
賃貸収入原価	8,332	7,772
その他	7,623	3,389
営業外費用合計	17,252	14,721
経常利益	1,431,072	993,365
特別利益		
固定資産売却益	286	5,741
補助金収入	—	349,041
特別利益合計	286	354,782
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	54
固定資産除却損	158	1,334
災害による損失	3,056	—
特別損失合計	3,214	1,388
税金等調整前四半期純利益	1,428,143	1,346,759
法人税等	454,574	404,816
四半期純利益	973,569	941,942
親会社株主に帰属する四半期純利益	973,569	941,942

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	973,569	941,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172,927	△96,289
繰延ヘッジ損益	△28,612	△40,021
退職給付に係る調整額	8,543	1,279
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,892	121,626
その他の包括利益合計	146,966	△13,404
四半期包括利益	1,120,535	928,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,120,535	928,537
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上していた販売奨励金等の一部を、売上高から控除しています。また、有償支給取引において、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識していましたが、当該取引において買い戻し義務を負うことから、有償支給した原材料等について消滅を認識しないこととしました。なお、当該取引において支給品譲渡に係る収益は認識していません。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しています。

- (1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取り扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと
- (2) 当連結会計年度の期首より前までに従前の取り扱いに従ってほとんどすべての収益を認識した契約に含まれる変動対価の額について、変動対価の額に関する不確実性が解消された時の金額を用いて比較情報を遡及的に修正すること
- (3) 前連結会計年度内に開始して終了した契約について、前連結会計年度の四半期連結財務諸表を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の原材料及び貯蔵品が82,577千円増加し、流動負債のその他が82,577千円増加しました。また、前第1四半期連結累計期間の売上高は3,924,015千円減少し、販売費及び一般管理費は3,924,015千円減少しましたが、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に変更はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)および当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. 2022年3月期 第1四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位: 百万円、%)

	前年同期		当第1四半期		前年同期比		前年同期比増減要因等	
	金額	率	金額	率	金額	率		
売上高	100.0 17,212		100.0 17,363		150	100.9	販売函数 +22千函 + 0.5% 製品群別売上高 ・ツナ △130百万円 △ 1.6% ・パスタ&ソース △ 86 △ 5.6 ・総菜 △ 77 △ 4.2 ・削りぶし・ のり・ふりかけ類 △126 △12.5 ・業務用食品 +530 +22.7	
売上原価	75.1 12,927		76.3 13,253		326	102.5	・売上原価率 +1.2ポイント	
売上総利益	24.9 4,285		23.7 4,109		△175	95.9		
販売費及び一般管理費	17.6 3,024		18.9 3,269		244	108.1	・販売奨励金 30百万円 + 6.3% ・広告宣伝費 54 + 15.9 ・荷造運賃・保管料 36 + 4.3 ・研究開発費 44 +130.1	
営業利益	7.3 1,260		4.8 840		△420	66.7		
営業外損益	1.0 170		0.9 152		△17	89.8	・持分法による投資利益 △ 25百万円	
経常利益	8.3 1,431		5.7 993		△437	69.4		
特別損益	△0.0 △2		2.1 353		356	-	・補助金収入 +349百万円	
税金等調整前 四半期純利益	8.3 1,428		7.8 1,346		△81	94.3		
法人税等	2.6 454		2.4 404		△49	89.1		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	5.7 973		5.4 941		△31	96.8		

設備投資額	557	732	175	131.5	無形固定資産含む
減価償却費	227	403	176	177.5	無形固定資産分含む

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 百万円、%)

	前年同期	当第1四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金(引当金繰入額含む)	484	515	30	106.3
広告宣伝費	339	393	54	115.9
荷造運賃・保管料	848	885	36	104.3
給料・賞与(引当金繰入額含む)	507	505	△1	99.7
退職給付費用	43	35	△8	81.2
研究開発費	34	78	44	230.1
その他	766	855	88	111.5
合計	3,024	3,269	244	108.1

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。